

避難時の8つの心得

いざという時、あわてず、冷静に

日頃から避難に必要な物を用意しておくとともに、避難の手順について家族で打ち合わせをしておく、いざという時あわてずに避難ができます。また、その時は、ラジオや広報車などからの情報を確認し、一人で行動せず、必ずグループで行動するようにしましょう。

1 安全な避難路の確認を

避難所までの経路（避難路）は、あらかじめ自分たちで決めておき、安全に通行できるかを確認しておきましょう。



5 動きやすい服装、2人以上での避難

避難するときは、動きやすい服装で、2人以上での行動を心がけましょう。



2 正確な情報収集と早めの行動を

ラジオ・テレビで最新の気象情報、災害情報、避難情報に注意しましょう。雨の降り方や浸水の状況に注意し、危険を感じたら早めに行動することを心がけましょう。



6 車での避難は控えて

自動車での避難は緊急車両の通行の妨げになりますので、特別の場合をのぞきやめましょう。



3 避難の呼びかけに注意を

危険が迫ったときには、市役所や消防団から避難の呼びかけをすることがあります。避難の呼びかけがあった場合には、それに従いましょう。



7 危険が迫ったときの避難

浸水等により避難が危険だと思われる場合は無理せず2階以上に避難しましょう。



4 お年寄りなどの避難に協力を

お年寄りや子ども、障がいのある人は、早めの避難が必要です。近所のお年寄りや子どもなどの避難に協力しましょう。



8 避難するときの注意

避難するときは、塀ぎわ・崖・川に近づくのは避け、浸水している場合は、さぐり棒などを持ち側溝等に転落しないように注意しましょう。

